

策定プロセス訪問調査事例

北海道根室市

1 市町村概要

根室市は北海道の東部に位置し、東に北方領土が間近にある地域であり、北海道でも古い歴史を有している。基幹産業は漁業であり、一時は道内屈指の水産都市であったが、転換期を迎えている。人口は減少傾向にあり、着実に少子、高齢化してきている。

保健所の管轄は1市1保健所であり、濃厚なつながりで業務にあたっている。

2 計画のアウトプットの特徴(計画書の特徴的なページコピー)数枚(組織、事業、策定過程、現状分析等)

3 訪問調査でわかった策定プロセスの売り

庁舎内の調整が取れている。計画策定懇話会を開催し、医師会、歯学会、民生委員、保母会保健推進員、食生活推進協議会、母子会、校長会、養護教諭協議会、看護協会、子ども館、保健所等関係者の参加がある。さらに、策定後も関係者は関心を向けている。

4 各策定段階の促進要因

1) 準備要因、合意形成

庁内の合意形成(熱意がどれだけ伝わったか。)

課長がキーマンとなり、庁内を個々に話を聴いてまわった。(会議以外での情報収集)

また、課長は前任が国際協力の担当であり、全町的な計画を既に計画してきた実績があった為に、計画作成のイメージと、関係部署の調整がスムーズだった。

2) ニーズ把握

アンケートは実施できなかったが、庁舎の担当者から実態を把握し、実施した。

個々の職員が問題意識を持っていた。

3) 計画化

個々の担当者の想いが集約された。

保健所のアドバイスがきめ細やかで、住民の意見の集約の必要性や、計画に盛り込まれていないが、他の部署で実施されている事業を盛り込むことに役立った。

商工課の女性の働きやすい環境づくり等それぞれが考えていた。

エンゼルプランの構想ができていた。

部と一緒に連携が上手く取れた。

4) 施策の実現

予防接種の個別化(かかりつけ医の所で実施。)

想いを予算化するのは大変だった。

5) 住民参加

担当者が住民の要望取り上げて盛り込んだ。

6) 保健所の役割

情報提供。計画立案時のアドバイス。(内容の検討)

5 ワークシート

母子保健計画策定プロセスに関する調査票 (記載例)

市町村名 (根室市)	記載担当者名 (大槻悦子、今川洋子)		市 町 村	保健所の関与
市町村行政内部の作業			住 民 参 加	
<p>【1】事例の概要</p> <p>◆事例検討に当たって理解しておくべき背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口、地理的条件、社会資源等 ・市町村の組織体性 ・住民組織の成熟度等 ・県の取り組みと保健所の特徴 ・その他 	<p>●策定プロセスだけでは分からない背景要因や基本的に理解しておくべき事項について記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の人口35,000人で年々減少傾向にある。従来は高出産型であったが、近年は低出生率・低死亡率に移行している。 ・特に出生数がここ数年350人程度で従来より約30%の減少となり、若者の定住対策と少子化対策が大きな課題になっている。 ・市内には産科が公立病院に1ヶ所、小児科が個人開業医1ヶ所、公立病院1ヶ所所である。小児専門医療機関の増設が求められている。 ・市の財政状況から乳幼児に対する理解度が高い。 ・住民の乳幼児健診に対する理解度が高い。 ・保健所管内1ヶ所の市であり、母子保健の確保が保健所であるなど、密着した活動をしている。 		<p>●同左</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成8年定例の母子保健連絡会において、保健所長や主幹から計画の策定の主旨と実施に当たって現状や対策についての研修を受けた。 	
<p>【2】計画策定の準備</p> <p>◆計画策定の目的、策定の手法等の合意形成</p> <p>①合意形成のキーマン</p> <ul style="list-style-type: none"> ②顧問 <ul style="list-style-type: none"> ・市長、財政、他課、議会、住民組織、医師会等 ③合意形成の手法 <ul style="list-style-type: none"> ・個別調整、会議、研修、勉強会等 ④策定体制の有無、構成、運営 	<p>●誰が、どの様な対象に対して、どの様な方法で、計画策定の目的や必要性、意義について合意形成の作業をしたのか、そのポイントを簡潔に記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課長と主任保健婦が中心となって計画策定の基本的項目についての協議。 ・課長が市長の了解を得て庁内に「根室市母子保健計画策定委員会」を設置するとともに、関係課長、係長に対し基本的事項について説明をする。(設置要綱及び庁内メンバーは別紙のとおり) ・関係課に対し、母子に係る諸施策の現状について依頼。 ・課長・主任保健婦が関係課長・係長と個々の現状と課題将来の進むべき方向についてワーキング。 ・一定の方向が出された段階で「策定委員会」を開催した。(3回) ・「策定市民懇話会」を設置する為、庁内の関係課から民間の団体等の推薦を求めた。 ・策定市民懇話会の代表には民生委員協議会・児童福祉部会長を選任し、根室保健所から地域保健法の改正と母子保健についての概要を説明。課長から市の関係課と協議した本計画の概要を説明し、各団体等において再度検討を依頼。 ・「策定市民懇話会」設置要綱メンバー…別紙のとおり (計3回実施) <p>【課題・問題点・苦勞したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内の策定委員会においては、各課から十分な資料の提供や意見が求められなかった。 ・計画が策定されたが、各課においては将来を見据えた事業をどの様に実施していくのか、予算確保の為とどうするのかが不透明である。 ・計画策定においては、必要性の理解が得られたが、相当の時間を要した。 	<p>●計画策定の準備段階に、地域住民の参画があれば記載する</p> <p>例) ・保健婦の係長が、健康づくり住民組織のキーマンに計画策定について説明。当初から、住民参加型の計画づくりについて合意をとった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民組織の〇〇が、首長に母子保健計画に住民の声を反映するように陳情 	<p>●保健所の計画策定準備段階の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定に当たり、基本的な作業と内容について指導を受けた。 ・策定市民懇話会にオブザーバーとして参加をいただいた。 ・初回には、保健所担当課長から母子保健の方向についての意見を伺った。 	

<p>◆その他、計画策定のための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算 ・人的体制 ・時間の確保 ・その他 	<p>●上記以外のごとで、計画策定をしやすくするための様々な環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定にあたっては、担当課が多忙なこともあり、十分な協議が出来なかった。 ・現業には課長・主任保健師の考えが先行してしまっただ。 ・策定作業は、夜間・土日曜日が中心となり、時間外対応となり、当部予定の時間外増の要因となった。 	<p>●同左</p>	<p>●同左</p>
<p>【Ⅲ】地域の実態、住民ニーズの把握</p> <p>①地域の実態、住民ニーズ把握の視点の整理と共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーマン、範囲、手法 ・検討体制 （【Ⅱ】と同様） <p>②具体の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存資料の活用 ・住民等との対話 ・アンケート調査 	<p>●地域の実態把握や住民ニーズを把握する方法について、誰がキーマンになってどの様な範囲のスタッフで、どの様な手法で合意形成をとったか。また、その手法は、具体的な内容はどの様なものか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画は本市の総合計画のサブ計画と位置づけしている。 ・本来は、住民ニーズ調査が先行すべきであるが、時間的な問題等があり、課長がキーマンとなって、関係課長・係長と幾度にもわたりワーキングを行った。 ・計画に必要な資料や情報の提供を依頼。 （関係資料の収集） ・居室保健所-人口動態や各種母子保健に係る統計データ（全道分含む）の協力要請 ・庁内 部-女性就業率と育児休業について 学校登校拒否について 療育手帳や母子通園センターの利用について 助産施設及び乳幼児医療費助成について 	<p>●実態把握やニーズ把握で住民に協力を得たこと。住民から求められたこと</p>	<p>●実態把握やニーズ把握にあたっての保健所の協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内のワーキングに保健所担当係長も参加いただき、人口動態（出生・死亡・死産・婚姻）等や、各種母子保健に係る統計データ（全道分・全道分）に関する情報をきめ細かく提供受けた。
<p>【Ⅳ】計画（施策）化</p> <p>①具体の対応方策に関する検討協議と関係者の合意形成</p>	<p>●誰が、どの様な方法で、どの様な範囲の関係者に対して、実態把握した課題や住民ニーズに対応した方策について合意形成をとり、計画化（施策化）したか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課長・主任保健師が中心となって計画の原案を作成 ・関係課長・係長と個々の協議。（同時） ・庁内の計画策定委員会において、個別協議の内容等も含んで協議した。（3回） ・民間団体からなる「策定市民懇話会」を開設し、計画原案について協議。（3回） ・計画期間は根室市の総合計画の最終年度と同じ平成16年度（2005年）までとする。 ・事業の目標値については乳幼児検診部門等が中心になった。将来的な事業については随時開陳といった表現にとどまった。 <p>【課題・問題点・苦労したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を策定するにあたって、関係課からの現状と課題、そして将来の方向の考え方を聞いたが、将来の目標数が見えて来なかった。 	<p>●計画化（施策化）の過程に住民がどの様に参画したか</p>	<p>●計画化（施策化）の過程に保健所がどの様に参画したか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定市民懇話会に保健所担当課長・係長が3回出席 ・計画作りの手法についての助言
<p>②内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体の目標、数値目標 ・評価指標 			

<p>【V】計西の具体化 ・9年度予算への反映</p> <p>・計西の進行管理 組織体制</p> <p>・住民、関係機関への周知等</p>	<p>●計西の具体化として、9年度予算や事業に新たに組み込まれ実践されているものがあるかどうか、その内容はどうか、計西の進行管理をどの様な体制でどの様に実施しているのか、住民や関係機関等に計西をどの様な手法で周知しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成9年度においては、地域保健法の改正に伴い、その業務が市町村に移行された。母子保健サービスの分野の妊婦健康診査事業、三才児童健康診査事業について予算化。 ・現行の母子保健連絡会を今後見直し、本計西策定時の「懇話会」のメンバーからなる「根室市母子保健連絡協議会」を新たにスタートし、事業の推進管理に当たっていききたい。 ・本計西を市内の医師会・歯学会・地区保健推進員に配布。 	<p>●住民が計西策定されたことに対してどの様に周知行動を起こしたか、どの様な変化が見られたか</p>	<p>●保健所が、計西の具体化にどの様に協力支援したか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計西が具体化される中で、保健所保健婦と市の保健婦合同による本計西の内容等を研修し、情報交換を行ない、将来的「根室市母子保健連絡協議会」のスタートに結び付ける。
<p>【W】全体を通じた事例のまとめ (キーワーズも記入)</p>	<p>●全体を通じた事例のまとめ</p> <p>◎保健策定相当事者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に対する理解が深まり、同時に保健所とも諸事業の推進に当たって、意志の疎通が図られるようになった。 ・管内の地域医療対策協議会が見直しされる中で、母子保健対策の推進に一層の弾みが付いた。 <p>◎その他、特記すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の計西策定に当たっては、現行の施策に対し、行政だけで当面考えられる将来的方向(施策)を示したものであって、本来は市民アンケートをし、幼児を抱える親や地域の住民は、どのよう 		